

固体電子論特論 レポート問題

提出先 7号館 117号室ドア前レポートBOX

提出期限 2000年9月13日 午前10時

2電子の座標に依存する演算子 $\hat{L}_{1,2}$ の Slater 行列式による期待値は、

$$L = \sum_{i < j} \int \phi_i^*(\mathbf{r}_1) \phi_j^*(\mathbf{r}_2) \hat{L}_{1,2} \phi_i(\mathbf{r}_1) \phi_j(\mathbf{r}_2) d\mathbf{r}_1 d\mathbf{r}_2 - \sum_{i < j} \int \phi_i^*(\mathbf{r}_1) \phi_j^*(\mathbf{r}_2) \hat{L}_{1,2} \phi_i(\mathbf{r}_2) \phi_j(\mathbf{r}_1) d\mathbf{r}_1 d\mathbf{r}_2$$

で与えられることを示せ。(配点 20 点)

式 (3.28)

$$\rho_X^{i\sigma}(\mathbf{r}_1, \mathbf{r}_2) = - \frac{\phi_i^*(\mathbf{r}_1) \phi_i(\mathbf{r}_2) \sum_j \phi_j^*(\mathbf{r}_2) \phi_j(\mathbf{r}_1)}{|\phi_i(\mathbf{r}_1)|^2}$$

によって定義される交換電荷密度 $e\rho_X^{i\sigma}$ は、

$$\int \rho_X^{i\sigma}(\mathbf{r}_1, \mathbf{r}_2) d\mathbf{r}_2 = -1$$

の性質を持つことを示せ。(配点 20 点)

Slater 行列式に変分原理を適用して、1 電子函数に対する Hartree Fock 方程式を導いた。粒子の交換を考慮しない全電子波動函数

$$\Psi = \psi_1(\tau_1) \psi_2(\tau_2) \cdots \psi_N(\tau_N)$$

に対して変分原理を適用して、Hartree 方程式

$$H_1 \phi_i(\mathbf{r}_1) + \left[\sum_j' \int |\phi_j(\mathbf{r}_2)|^2 \frac{e^2}{r_{12}} d\mathbf{r}_2 \right] \phi_i(\mathbf{r}_1) = \epsilon_i \phi_i(\mathbf{r}_1)$$

を導け。また、この Hartree 方程式を満たす $\phi_i(\mathbf{r})$ は互いに直交しないことを示せ。(配点 30 点)

物理系または化学系を専攻する者は必ず (a) を、その他の者は (a) または (b) を選択せよ。(配点 30 点)

(a) Na や Al などの伝導電子状態は、NFE モデルによって大変良く近似される。イオン殻 (原子核) 近傍の強いポテンシャルや電子間相互作用が、これらの金属においてあまり重要でないように見える理由 (NFE モデルと 1 電子近似の妥当性) について説明せよ。前者については例えば OPW (orthogonalized plane wave) 法について調べてみよ。後者については「電子の集団運動」の節を思い出してみよ。

(b) Bloch 函数が格子の周期をもつ「 k に依存しない」 $u(\mathbf{r})$ によって、

$$\phi_k(\mathbf{r}) = e^{i\mathbf{k} \cdot \mathbf{r}} u(\mathbf{r})$$

と表される場合には、Wannier 函数は、

$$w(\mathbf{r} - \mathbf{R}_j) = \frac{\sin \pi(x - R_{jx}) \cdot \sin \pi(y - R_{jy}) \cdot \sin \pi(z - R_{jz})}{\pi^3(x - R_{jx})(y - R_{jy})(z - R_{jz})} u(\mathbf{r})$$

と書けることを示せ。